

株主のみなさまへ

株主通信

第68期 第2四半期

2020年2月1日～2020年7月31日



株主のみなさまへ

事業領域を拡大し、ニューノ

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より、クロスプラスグループをご支援いただきまして誠にありがとうございます。ここに第68期第2四半期（2020年2月1日～2020年7月31日）の株主通信をお届けいたします。

コロナ禍においても経常利益は増益

当期のアパレル業界では、中国生産の遅れ、商業施設の臨時休業や営業短縮、外出規制等による個人消費の落ち込み等、極めて厳しい状況となりました。

このような環境の中、当社グループは、アパレル事業の創る力をベースに業態・機能を掛け合わせることで、新業態の確立、アパレルの機能強化、事業領域の拡大を掲げ、推進してまいりました。

売上高は、アパレル卸売では、生産の遅れや店舗の休業等により既存の衣料品販売が減少したものの、ファッションマスクや生活雑貨などのウィズコロナ関連商品の開発及び販売が伸長し、若干の減収にとどまりました。アパレル小売では、EC売上は順調に伸長したものの、店舗の休業や来店客数の減少に伴う店頭販売の低迷、春夏物在庫の値下げ等の影響を受け大きく減収となりました。

代表取締役社長

山本 大寛

マルのライフスタイルに貢献します。

利益面では、売上高の減少に伴い売上総利益は減少しました。販売費及び一般管理費は、緊急的に営業経費を見直したこともあり減少したものの、売上総利益の減少を補うことはできず、営業損益は減益となりました。一方で、営業外収益で従業員の勤務調整をしたことによる雇用調整助成金や受取家賃を計上したこと等により、経常利益は増益となりました。また、第1四半期において計上したのれんの減損損失等の特別損失を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純損益は減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は259億4百万円(前年同期比6.6%減)、営業損益は1億6百万円の営業損失(前年同期は24百万円の営業利益)、経常利益は1億98百万円(前年同期比58.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純損益は66百万円の純損失(前年同期は1億21百万円の純利益)となりました。

ウィズコロナ関連商品の拡大

当第1四半期は新型コロナウイルス感染症拡大により大きな影響を受け、減収減益となりました。衣料品消費の回復は依然として見通しづらい状況ではありますが、当社はこの環境変化に機敏に対応し、自社の企画力を活用してファッ

シヨマスクや生活雑貨などのウィズコロナの商品開発に取り組み、当第2四半期は増収増益となり黒字化することができました。

2021年1月期通期の取り組みにおきましては、当期の施策であるECの強化とアパレルの機能強化に取り組みます。

ECの強化では、ECブランドを増加し、既存ブランドをEC向けにリブランディングしています。コスト面では、物流センターを統合し内製化することで、物流コストの削減を図ります。

アパレルの機能強化では、イエナカ対応、ウィズコロナ関連商品の開発、中国拠点の生産活用、M&Aが主な施策となります。当社の企画力を活かし、在宅生活をより快適にするためのルームウェアの開発やファッションマスク等のコロナ禍でも生活を楽しむような商品の開発を進めます。また、中国拠点では現地スタッフによるオンライン商談、検品を実施することで、生産管理強化を進めます。M&Aでは今年6月に株式会社ローズマダムが展開するマタニティウェアの企画・販売の事業譲受を行いました。

アパレル機能強化と事業領域の拡大に注力し、ニューノーマルのライフスタイルに貢献してまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

CONTENTS

株主のみなさまへ	1	TOPICS 4 社会貢献への取り組み	6
TOPICS 1 新規商品開発	3	一目で分かるクロスプラスの連結財務データ	7
TOPICS 2 ECの強化	5	会社概要/株式の状況	9
TOPICS 3 M&A	5	インフォメーション	10

TOPICS 1 新規商品開発

～ ウィズコロナの新しい生活様式に対応した商品開発 ～

コロナ禍による外出自粛や在宅ワークのおうち時間を充実させるアイテムの商品開発を進めています。



◆ テレワークウェア

「テレワーク映え・きちんと見え・着心地らくちん」がキーワード。

テレワークでの在宅勤務が増える中、急なweb商談やwebミーティングでも安心のスタイリングを提案します。

◆ エプロンワンピース「Suporon(スポロン)」

すぽっと着れてどんなシーンでもライフスタイルをサポートしてくれるようなエプロンワンピース。

とっさの宅配便、料理、子育てなど様々なシーンに対応します。



◆ ねおちピロー

コロナ禍で家で過ごす時間が増える中、うつ伏せの姿勢でもゲームやスマートフォンが操作しやすい枕「ねおちピロー」を開発。

クラウドファンディングサービスを利用して販売しました。

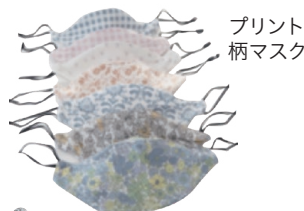


～ ウィズコロナ関連商品 ～

新しい生活様式にいち早く対応し、当社ではファッションマスクや使い捨てマスク、生活雑貨などのウィズコロナ関連商品の開発、販売強化を進めた結果、第2四半期で48億円の売上となりました。

◆ 新規商品開発（ウィズコロナ関連商品）

パステル
マスク



フェイス
パイザー



ヒノキライフミスト



和紙マスク



ハンドマスク

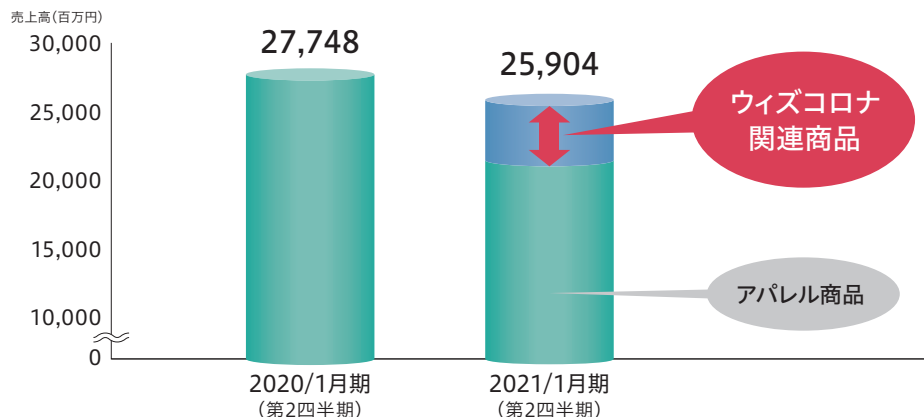


冷感マスク



ウルトラソ
ンマスク

◆ ウィズコロナ関連商品が拡大



TOPICS 2 ECの強化

EC強化の施策としてEC販売ブランド数の増加を進めます。

既存ブランド「A.T(エー.ティー)」をEC用にリブランディングし、ターゲットの年齢に合わせた商品MDを組み直しています。また、男性用ビジネスウェアブランド「bizcos(ビズコス)」を立ち上げました。

◆ A.T

インフルエンサーを活用してブランドPRを進め、ライブ配信やオンライン展示会などのデジタルを活用して販売を進めます。



◆ bizcos

オンライン専用のビジネスウェアブランドです。立ち上げ第1弾としてポロシャツを販売しました。今後も順次ラインアップを拡充します。

TOPICS 3 M&A

マタニティブランド「Rosemadame(ローズマダム)」の事業譲受を行い、マタニティ分野の事業拡大を進めます。

◆ Rosemadame

当社は6月に株式会社ローズマダムが展開するマタニティウェアの企画・販売の事業譲受を行いました。

ローズマダムは、マタニティ業界ではブランド認知度が高く、特にマタニティインナーの企画やEC販売に実績があります。国内市場でさらなる事業拡大を図ります。



TOPICS 4 社会貢献への取り組み

手作りマスクの寄付や使い捨てマスクの販売、エコバックの開発等アパレル企業ならではの社会に貢献できる活動を進めています。

◆ マスク

コロナ禍でのマスク販売、寄付等の活動を行っています。当社は、これまでマスクは取り扱っていませんでしたが、自社の取引工場を通して緊急的な調達を行い、使い捨てマスク5,600万枚をマスク不足が深刻な保育・介護事業所、一般企業等へ販売しました。

また、社会貢献活動として、グループ会社ディスカバリープラスが使い捨てマスク12,000枚を神奈川県福祉施設に寄付しました。

クロスプラスでは、社員有志で手作りした子供用マスク3,000枚を名古屋市の児童施設に寄付しました。

衣料品以外の商品に携わったことで、
従来と異なる発想が生まれ、
商品開発の新しいアイデアが生まれました。



名古屋市の河村たかし市長にマスクを寄贈



◆ エコバック

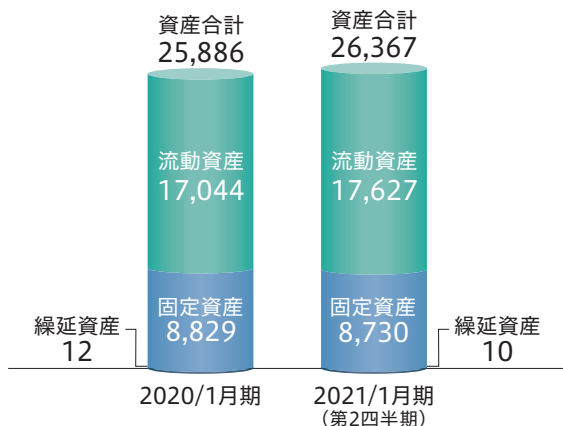
7月からのレジ袋有料化に向けたSDGs対応商品で、環境省が推奨する海洋プラスチックごみ問題による廃プラスチック削減の「プラスチックスマート」運動に賛同した商品です。

当エコバックは、全国のスーパーで販売しており、株主優待の商品としても採用しました。

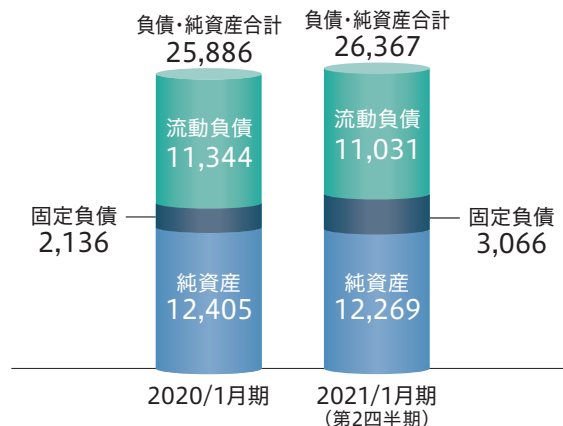
一目で分かるクロスプラスの連結財務データ

◆ 連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)

資産の部



負債・純資産の部



POINT | 流動資産

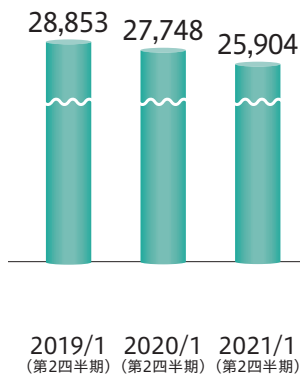
現金及び預金が6億82百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ5億82百万円増加の176億27百万円となりました。

POINT | 流動負債

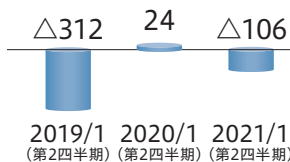
短期借入金が8億円増加したものの、仕入債務が10億39百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ3億13百万円減少の110億31百万円となりました。

◆ 連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)

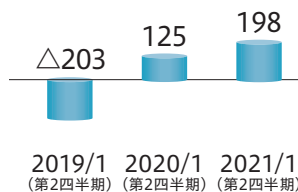
● 売上高



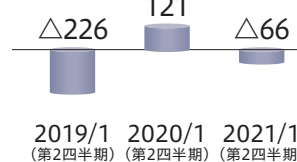
● 営業利益



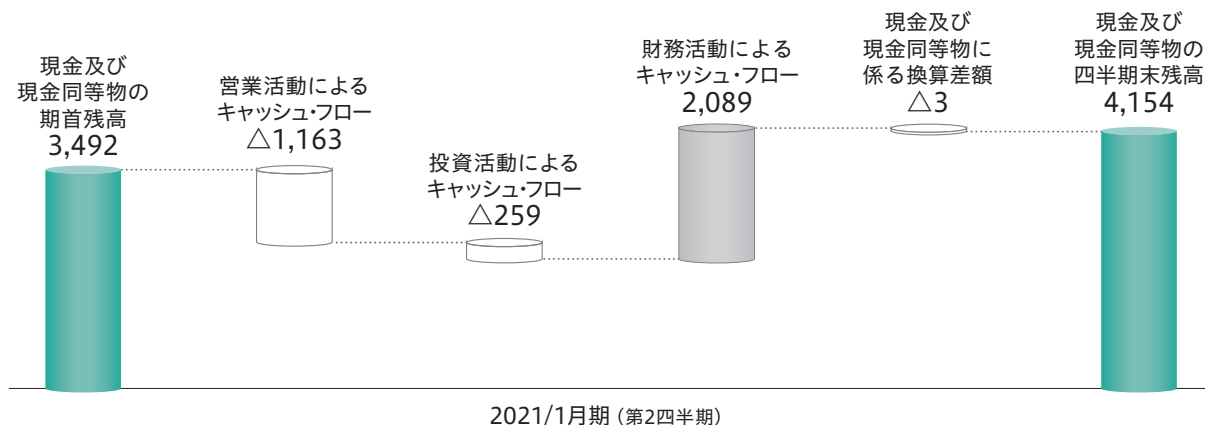
● 経常利益



● 親会社株主に帰属する四半期純利益



◆ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)

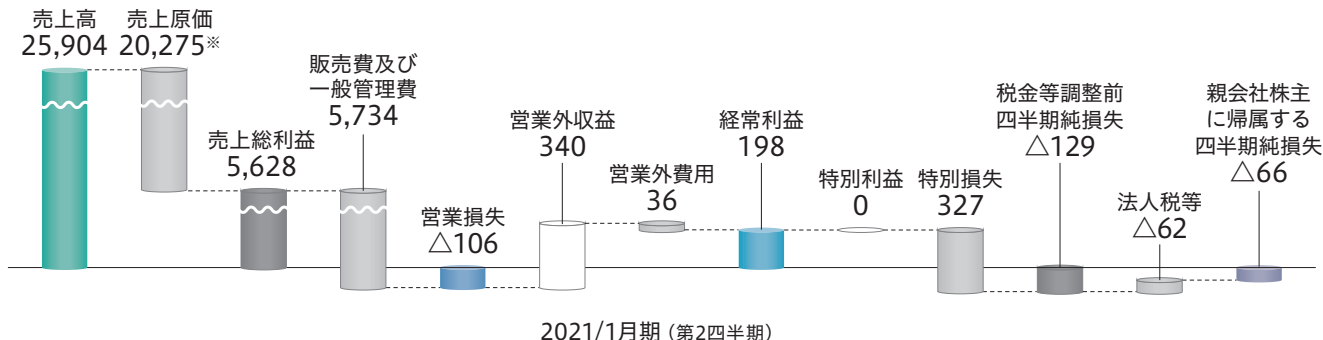


POINT | 営業活動によるキャッシュ・フロー

11億63百万円の支出(前年同期は5億51百万円の収入)となりました。これは、税金等調整前四半期純損失が1億29百万円(前年同期は2億36百万円の税金等調整前四半期純利益)となったことに加え、仕入債務の減少が10億37百万円(前年同期は20億41百万円の減少)となったこと等によります。

POINT | 損益分析

売上高は、生産の遅れや店舗の休業等の影響により既存衣料品の売上高が減少したもののウィズコロナ関連商品の販売が伸長し、若干の減収にとどまりました。利益面では、売上高減少に伴う売上総利益の減少を緊急的な営業経費の見直しで補うことができず、営業減益となりました。



※返品調整引当金戻入・繰入額を加味した数値です。

会社概要／株式の状況 (2020年7月31日現在)

◆ 会社概要

事業内容 衣料品、服飾雑貨全般を企画製造し、専門店、店舗、EC等への卸売及び百貨店等での小売

創業 1951年8月

設立 1953年4月

資本金 1,944百万円

代表者 代表取締役社長 山本 大寛

従業員数 769名(連結)、632名(単体)

事業所 本社：名古屋市西区花の木3-9-13
東京店：東京都中央区日本橋浜町3-3-2
物流センター：中部、CP流通

グループ会社 (株) サードオフィス
(株) 中初
(株) ディスカバリープラス
客楽思普勒斯(上海) 服飾整理有限公司

◆ 株式の状況

発行可能株式総数 31,600,000株 株主数 9,929名
発行済株式の総数 7,718,800株 単元株主数 9,462名

◆ 大株主(上位10名)

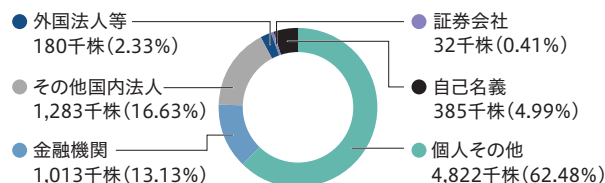
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
辻村 隆幸	600	8.18
クロスプラス社員持株会	328	4.47
株式会社日本カストディ銀行	243	3.31
田村駒株式会社	238	3.25
森 文夫	233	3.18
株式会社ヤギ	218	2.98
有限会社シーピーモアー	191	2.60
CP共栄会	179	2.44
株式会社三菱UFJ銀行	166	2.26
シーピーホールディング株式会社	140	1.90

(注) 持株比率については、自己名義株式385千株を控除して算出しております。

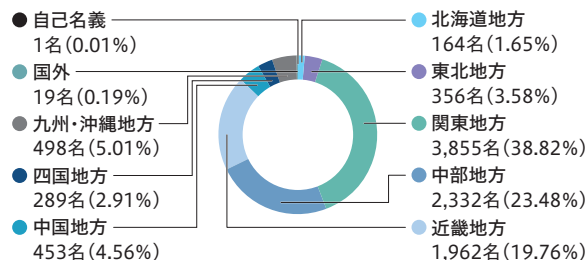
◆ 役員

代表取締役社長	山本 大寛
常務取締役	西垣 正孝
常務取締役	西尾 祐己
常務取締役	大口 浩和
社外取締役	江口 恒明
社外取締役	二見 英二
常勤監査役	虫鹿 宏
監査役	曾我 孝行
社外監査役	松永 安彦
社外監査役	豊田 稔
執行役員	柳瀬 努
執行役員	白木 規博
執行役員	磯貝 啓司
執行役員	内藤 正徳
執行役員	中村 直哉
執行役員	熊澤 真人
執行役員	福井 谷政志

◆ 所有者別分布状況



◆ 地域別分布状況



インフォメーション

◆ 株主優待制度のご案内

毎年1月31日(決算期)現在の株主名簿に記載された100株(1単元)以上を保有する株主様に対して、「クロスプラスグループの選定商品」と「クロスプラスオンラインストアのクーポン券」のいずれかをお選びいただき、ご所有株式数に応じて次のとおり贈呈いたします。

ご所有株式数	選択制	
	当社グループ選定商品の場合	クーポン券の場合
100株以上 500株未満	小売価格 3,000円相当	3,000円
500株以上 1,000株未満	小売価格 5,000円相当	5,000円
1,000株以上	小売価格 10,000円相当	10,000円



特別優待

上記の他に、抽選で株主様に30万円の旅行券を贈呈いたします。年1回定時株主総会の終了後に、総会会場にて抽選会を実施し決定いたします。

抽選の対象となる株主様

①毎年1月31日現在の株主名簿に記載された100株以上を保有する株主様 ②直近の期末株主名簿から100株以上を3年以上継続して保有(期末・中間株主名簿に同一の株主番号で連続7回以上記載)の株主様

当選数

①の株主様の中から10名様 ②の株主様の中から2名様 (ただし、①と重複当選の場合は無効といたします)

◆ 株主メモ

事業年度 毎年2月1日から翌年1月31日まで

基準日 定時株主総会 1月31日

期末配当金 1月31日

中間配当金 7月31日

そのほか必要がある場合には、あらかじめご告知いたします。

定時株主総会 毎年4月に開催

公告方法 電子公告

(<https://www.crossplus.co.jp/>)

ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載を行います。

上場証券取引所 東京証券取引所市場第二部
名古屋証券取引所市場第二部

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先(電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

配当金計算書について

配当金支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基

づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。

*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



N.O.R.C

by the line



CROSS PLUS

当社の最新情報はWebサイトをご覧ください。当社のIR情報、取扱ブランド、オンラインショップから企業活動まで、常に最新情報をご提供しています。

<https://www.crossplus.co.jp/>

または

UD
FONT
by MORISAWA

見やすく読みま
ちがえにくいユニ
バーサルデザイ
ンフォントを採用
しています。



ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C022915